

'71

会報



THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

鶴岡ロータリー

第 589 号

1971.2.9 (火)

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや

事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ☎ 5775

会報はご家族みんなで読みましょう

ゝ隔りを取り除こうゝ

出席報告

本日の出席 会 員 数 61名
出 席 数 45名
出 席 率 73.77%

欠 席 者 阿宗君、荒明君、長谷川(文)君、橋浦君、平田(圭)君、五十嵐(一)君、金野君、三井(徹)君、岩網君、廖君、齋藤(栄)君、鈴木(善)君、篠原君、谷口君、佐々木君、津田君

前回の出席 前回出席率 77.05%
修正出席数 54名
確定出席率 88.52%

マークアップ 五十嵐(伊)君—東京西北RC
阿宗君—新庄RC
藪田君—高島RC
嶺岸君、三井(徹)君、三井(賢)君、佐藤(伊)君—鶴岡西RC

ビクター

土田高之丞君—村上RC
原田行雄君—鶴岡西RC

会長報告

さきの例会で、次期の会長を指名するための指名委員会を構成することに決り、指名委員の選定は会長に一任されました。それで、

四つのテスト

—言行はこれに照してから—

1. 真実か、どうか
is it the truth?
2. みんなに公平か
is it fair to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか
will it build goodwill and better friendships?
4. みんなのためになるかどうか
will it be beneficial to all concerned?

これから読み上げます方々から大変御苦勞ですが、次期会長の指名委員となっただき選考のために御協力をねがいます。

なお指名委員の中に会長候補が入ってはうまくないとのことで、絶対候補に上らない方(即ち、元会長に就かれた方々の中)から選ぶとして、簡単ですが元会長のうち年代の若い方から6名、それに私を加えて7名で構成したいと思えます。

それには齋藤栄作さん、張さん、早坂源四郎さん、齋藤得四郎さん、石黒慶之助さん、三井徹さん、それに私を含め7名で構成することにいたしますのでよろしく御協力をねがいます。

本日例会後に一寸集っていただき、いつ第1回の会合を行うかについて打合せしたいと思えますのでお残りねがいます。

次に10周年記念誌をお送りした方々のうち次の方々から丁寧な礼状が届いているので、お名前だけ発表させていただきます。河村秀一郎さん(日通)、八丁目さん(NHK)、鈴木昭治さん(明治生命)、高橋無一さん(NHK) パストガバナー伊部政次郎さん、真崎健夫さん、齋藤堅治さん、高橋与市さん、安藤徹さん、穴沢養一さん、他クラブから猪苗代RC、仙台RC、村山RC、会津若松南RC、鹿兒島RC、それに山形市の庄司晋作さん(ガバナーミニー)また鶴岡市立図書館からきております。これらを回覧します。

それから今日、米山奨学金寄付金納入明細書がきているので閲覧します。これには353地区の各RCの米山奨学金の寄付金の累計金額が記してあります。因みに申し上げますと当クラブは36万9千500円となっております。ストテンの5〜6位に入ります。

また、2月6日に鶴岡高専のインターアクトクラブの認証状の伝達式があり、会員の佐藤伊和治さん、小花さん、張さん、石黒さん、三井徹さん、三井健さん、安藤さん、阿部裏さん、それに私が出席しました。いろんな事情のため、認証状の伝達式がおくれたようですが、幸いに鶴岡高専はOBといってもまだ学籍があるので、発会の当初に活躍された方も出席され、なごやかに盛大裡に行われました。

彼等は大変張切っております。これからどのような活動をされるのか後援団体としてのRCも彼等の活動に何等かの援助の手を差しよべたいと思います。大きなことは出来ないとしても、或は精神的な支えにでもなれば幸いに存じます。

インターアクトクラブの委員もローテーションして行く訳ですが、その中に経済的な面も当然として、精神的な面でも支えにでもなっておれば、彼等としても、たよりになると思うのでよろしくねがいます。

それから2月23日は、国際RCの創立記念日にあたるので、当日はロータリーのことにして元会長をやらされた方のうちからスピーチおねがい出来れば有難いと思います。プログラム委員会の方で何か考えておりましたらそちらの方でとりはこびねがいます。

なお2月23日は例会日にあたります。

日本経済の現況について 池内方平君

今日は最近の経済事情について、新聞、TV、雑誌でいきなり読んだりしたものを取りまとめてお話ししたいと思います。

現在の日本の経済は皆さんも御存じのように、景気にかげりが出て、冷却状態というか下降気味にあることは御承知の通りと思います。

こういう現象は、いつまで続くかということ、或は回復する見込があるかどうかということ、こういう問題を我々は常に考えさせられるところであります。

日本の経済は、今から5年前昭和40年頃から非常に成長が速く、5年間連続して成長してきたのですが、昨年の秋から調子が変わってきております。そのよってきたところは何が原因かということを考える前に、今から3〜4年前にアメリカのハドソン研究所のハーマカンが21世紀は、日本はアメリカをぬくだろ

うといったことはご存じのことと思います。経済評論家とか、いろいろのおえら方が常にこの言葉を使っているのです。1月新聞でみたのですがニューヨークタイムスの18日の記事にそれに類似したことが載っておりです。

それは16世紀はスペインがリードし、17世紀はフランスがリードし、18世紀はとんで、19世紀はイギリス、20世紀はアメリカであったと、それで21世紀は日本であろうと記してあります。これはハーマカンが言ったのとやや似たところがあります。それが本当か否かは、我々が相当疑問を持つところであります。

世界経済の動きを振り返ってみますと、1,700年即ち今から270年前を前後として約30年の間に産業革命がおきております。

ゼームスワットが蒸気機関を発明して、或は当時織機が発明されたのが産業革命になっております。それで金持が機械を買って工場をつくる。そして労働者を雇う。こういうので世界の資本主義が始ったのです。それが段々資本主義が大きくなっていく。要するに労資関係で、経営者、云うなれば資本家というものは労働者を搾取するというようなことで1850年代からマルクスの経済理論が出て、結局これを攻撃したのです。それが相当永く続きましたが、資本主義の欠陥である即ち資本家は太るが、労働者は貧乏になるというような形、これはマルクスが言う通りです。それで1929年〜30年、即ち今から40年前ですが、イギリスの経済学派のケインズがケインズ経済学として新しく出てきたのが完全雇用の資本主義失業者を出さない社会、福祉国家をねらう完全雇用の経済体制、これがケインズの経済学といわれております。

これは社会主義の体制に、社会主義は計画経済で完全雇用の体制をとっておりますが、資本主義はそれが出来ずに失業者を出しているということ、これはまずいということで、社会主義に対抗するためには、ケインズの経済学による完全雇用体制の経済機構いわゆる政府が、有効需用を誘発し、喚起すると。そして労働者を全部雇うという形。これがケインズの経済学として40年前に発表されたのです。日本の場合は池田内閣が下村治さん、稲葉秀三さんと、2人はケインズ経済学派の人ですが、この人をブレーンにして所得倍増を今から10年前にやられたのです。それが、一応軌道にのって、この10年間、日本の生長が非常に好調であったのです。大体10年間にGNPは4倍になっております。それほど成長した訳です。

ここまできて、これからアメリカで云って

いるように、ハーマンカンが云っているように、或はニューヨークタイムスが云っているように、日本の成長はこれから15年（未来学者が云っているように15年過ぎれば4倍に成長すると云っている）すぎれば果してそういう風に出来るものかということです。いわゆるケインズの経済学に云う完全雇傭100%近く稼働力のある人達を100%近く雇傭する目的で、新しい経済学を発表したのですが、現在の日本では100%を超えているのではないかと。日本の産業構造と日本の工場の最近の拡張によって、日本の労働者は大体6千5百万人位いると云われているけれども、それを越えた設備をした場合において、あるいは7千万〜7千5百万という労働力を必要とする日本の産業形式になったときには、人が不足することは当然です。これはケインズの経済学をオーバーした一つの経済政策に成り立っているのではないかと思うのであります。

皆様御承知の通り、アメリカのニクソンはここ1年か1年半ほどデフレ政策によって物価抑制をやったと。ところがそれが失敗したと。それで、物価を犠牲にして今ではインフレ政策をとっているということです。

これの原因としては、失業者が6%になったということによって、いわゆるケインズの近代経済学における失業者を出したということは、共和党首班であるニクソンとしては失敗であるということです。それで方向転換した訳です。現在の経済学から行くと完全雇傭体制96%位だそうですが、4%位失業者が常に存在するというので、完全100%ということはありません。96〜97%の人を働かせればそれはバランスのとれた安定経済ということになるのだそうです。

アメリカは6%の失業者が出たので、急に物価抑制を無視して失業者をへらすことに今切替えたのですが、日本の場合は、既に労働者が不足の状態にあるほど成長した日本経済が、今後この上にまた成長を続けるならば、未来学者が云うように5年で倍になるとか、15年で4倍になるというような成長を続けるならば、ますます労働者が不足となって、これは今のケインズの経済学の理論から離れてしまった特別の経済学がここに発生しなければ、日本はバランスとれないではないか、と思います。それで最近では、新しい経済学、即ちケインズの経済学を上廻ったもつと新しい構想の経済学が生まれなければ、資本主義社会の経済成長は続けられないではないかといわれています。

人はあって工場が動く。或は自動化するか省力化の機械をつくるとしても限界があります。やはりビル一つたてても、人の20人や

30人は必要であるということ。そういうように働く人は必要であるが、働く人を急に求めることは出来ない。そういう意味において、建物が、或は工場が、3倍になろうが4倍になろうが人がいなければ動かないではないかということに、経済が追い込まれているではないかと。最近ではスタグネーションとインフレーションがごっちゃになっているということ。これは今の企業政策においてはどうすることも出来ない。物価を下げるためには通貨をへらすこと。これによって或程度景気を押えることが出来るが、それは必ず大きなパニック反動につながると。反動につながれば佐藤内閣は総辞職しなければならない。

ニクソンだってそうです。だから今の政治家は反動までおこして物価を下げることはしない筈です。そうすれば当然物価は下らないのです。物価が下らずに不景気が続いた場合に、一体どういう事になるか。極端な例で行きますと、金融的にパニックを誘導してふるいにかけて、こういうより他に方法がないではないかと私なりに考えるのであります。

これは無謀なことですが、他に方法がなければ、そういう形をとらざるを得ないような場合もおきるではないかと。それで現在の日本経済は成長が速いだけにまだまだ速い成長を続けようとしている。46年の日本の成長は10.9ですが未だ高いです。フランスで6%、西ドイツやアメリカで2〜3%で、日本は外国の2倍〜2.5倍の成長を続けてきた。また今後も続けて行く姿勢をもっているということ。これは非常に危険をおかしてでないかということ、日本の経済が急ピッチで走ってきたものが、今一寸いきがきれているので、もたもたしていますけれども、在庫調整がすめば、今年の後半期には再びスタートするだろうという風なことを言っていますけれども、果してスタートするだけのスタミナがあるかどうか、またそういうことをして日本の経済が安定成長になるか、非常に疑問のある点であって、そういう意味で私が申し上げたケインズの経済学の行きづまりで、これからの世界の経済に新しい経済学が生まれてこなければ、これをきりぬけることが出来ないではないかと、このように感じる訳であります。

過日野村証券の人と話したときにも、先方でそう云っておりましたし、私も今の行き詰まった日本の状態をどうして救えるんだといったところが応えがなかったのです。

だから新しい時代には新しい今日をあみ出さなければならぬと。それほど世界経済は、特に日本経済は追いつめられているとい

うのが現状であります。
皆さんも、そういう意味で、毎日の新聞をご覧になればいささかわかるかと思えます。

そればかりでなく、現在の日本の一番大きな問題は、いわゆるエネルギーの問題があります。エネルギーの問題は次回にゆずることとし、今日は追いつめられた日本の経済というところで話を終ります。

創立10周年記念誌送付先からいただいた礼状のうち一部の紹介

第350区バスタガバナー伊部政次郎氏の礼状

昭和46年2月1日

鶴岡ロータリークラブ会長

小池繁治様

謹啓、貴クラブ益々御隆昌の趣大慶至極に存じます。

扱而今般貴クラブの創立10周年記念史をお恵送いただき、御芳志洵に有難く厚く御礼申し上げます。小生が第350区ガバナーの時に貴クラブのチャーター伝達式に出席して、貴クラブの今後の発展について御期待申し上げ、色々と運営のことについて御注意申し上げかつ御激励申し上げましたが、あれから早や10周年を経たということと、御期待申し上げました以上に隆々と御発展を実現されたことは本当に心嬉しく存じている次第です。10年史を拝見致しますに、至るところに編集の御苦心がうかがわれ、他クラブの同様のものに比較して、正に出色の出来栄になっております。特に交換された内外クラブのバナーが洩れなく掲出されていますが、この事は他に類例のない編集方法であり感服しています。小生にとってもよい記念になる貴重な史料として永く保存いたしたいと存じています。御承知の通りロータリーの発展は無限でありますので、今後共ロータリーの理想の拡大に鋭意御努力下さいませ様祈念申します。会員各位の御多幸を祈ります。不取敢御礼まで。

謹言

第350区バスタガバナー

伊部政次郎

元会員河村秀一郎氏(日通)の礼状

拝啓歳冬の新り、会員の皆様にはますますご健勝にてご活躍のことと心からお喜び申し上げます。

平素は御無沙汰のみいたしまして大変申し訳なく深くお詫び申し上げます。

さて、この度貴クラブ創立10周年記念史をご恵送に預り、まことに感激いたしております。ご懇情の程厚く御礼申し上げます。

一頁一頁をあの時この時となつかしく思い出深く拝見いたしました。またかえりみて、何等のご尽瘁もできなかったことを申し訳なく思っております。しかし貴クラブの皆様よりご指導をうけました「奉仕の精神」は今も忘れることなく会社の経営に反映するよう努力いたしておりますので、幸にお得意先あるいは労働組合の深い理解と支援により、健全経営の途を辿っておりますことは、まことに感銘に堪えないところと思っておりますとともに、在会中頂戴した皆様の温いご交誼は終生忘れることはない、いや忘れることはできないと心に誓っております。

今後貴クラブのますますご発展と会員皆様のご繁栄をお祈り申し上げ、お礼の詞といたします。 敬具

2月1日鶴岡ロータリークラブ
会員ご一同様

河村秀一郎

元会員八丁目直正氏(NHK)の礼状

拝啓酷寒の候益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素はご無沙汰に打ち過ぎ誠に申し訳ございません。お許し下さい。

さて、このたびは、私などまで立派な創立10周年記念史のご恵贈を賜わり身に余る光栄に存じ、一生涯の記念として有難く頂戴いたしました。

在鶴岡時は公私共大変お世話になり記念史を拝見するにつけ、会員の皆様方の懐しい思い出の数々が、走馬灯の如く甦り、改めて深く感謝している次第でございます。ありがとうございました。

会員の皆様方にもよろしく御鳳声願えれば幸甚でございます。

末筆ながら会員一同のご健康と益々のご繁栄を祈念いたし、略儀乍らとりあえず御礼申し上げます。 敬具

2月4日

鶴岡ロータリークラブ会長様

八丁目直正

幹事報告

会報到着

東京 R C

チャーターナイト案内

浦和東 R C 5月9日(日)

記念講演 文化庁長官 今日出海氏